

令和 4 年度 空間情報総括監理技術者資格認定試験

試験実施日時：令和 4 年 7 月 23 日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。
例) 22-099-1：受験番号 22-099 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字で入力する。
- 2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。
- 3) 解答はすべて USB メモリーに出力して提出せよ。
- 4) 注意事項を守らない場合には減点対象になる。

問 1 以下の設問への答えを、全部で 2 ページ以内に記述せよ。

あなたが本試験の受験申込で提出した「空間情報関連の業務経歴書*」の「責任者（原則として主任技術者）を務めた主な業務経歴」に記載した業務（ただし、原則として直近 5 年程度）のうち、最も印象に残る事例を 1 つ選択し、印象に残った事項や理由などについて、下記の項目に従って記述せよ。なお、図表等は用いないこととし、下記、0.～2.の記述は合わせて 1 ページ目の半分程度とする。

0. 受験番号と氏名
1. 業務名称、実施時期および場所
2. 業務の目的と内容（概要）
3. 印象に残った事項とその理由
4. 現時点におけるあなたの技術的評価と今後の展望

* 空間情報関連業務の責任者（原則として主任技術者）を 2 回以上経験していることを示す資料。

問 2 以下の設問への答えを、全部で 1 ページ以内に記述せよ。最初に受験番号と氏名を記し、解答は図表等を使用せず、論述のみとする。

ここ数年の DX（Digital Transformation）への取り組み事例を一つ挙げよ。その上で、空間情報技術者の立場から、その取り組み事例に対して空間情報技術がどのように貢献できるか、さらに現在の課題と将来展望について論述せよ。なお、取り組み事例は、自ら関わっていたか否か、公開されているか否かは問わない。

問 3 以下の設問に対するプレゼンテーションスライドを、パワーポイントのスライド 8 ページ以内で作成せよ。視覚的な表現に心がけること。ただし、アニメーション機能を使用してはいいけない。なお、空間情報技術の一般的な専門用語であれば、説明なしに用いてもよい。

空間情報技術者のエキスパートとして、空間情報に携わる技術者を対象とした講演会の講師に招かれたとする（講演時間は 60 分）。講演内容は空間情報技術に関することであれば自由である。講演の導入に相当する部分のスライドを作成せよ。

- 1 ページ目：講演タイトルと受験番号・氏名を記せ。
- 2～8 ページ目：題意に沿って自由に記述せよ。

以上

令和 3 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：令和 3 年 9 月 25 日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。
例) 21-099-1：受験番号 21-099 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字使用。
- 2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。
- 3) 設問の解答は全て USB メモリーに出力して提出せよ。

問 1：以下の設問への解答を、全部で 2 ページ以内に記述せよ

あなたが本試験の受験申込で提出した「空間情報関連の業務経歴書*」の「責任者（原則として主任技術者）を務めた主な業務経歴」に記載した業務（ただし、原則として直近 5 年程度）のうち、最も印象に残る事例を 1 つ選択し、印象に残った事項や理由などについて、下記の項目に従って記述せよ。なお、図表等は用いないこととし、下記、0.～2.の記述は合わせて 1 ページ目の半分程度とする。

- 0.受験番号と氏名
- 1.業務名称、実施時期および場所
- 2.業務の目的と内容（概要）
- 3.印象に残った事項とその理由
- 4.現時点におけるあなたの技術的評価と今後の展望

*空間情報関連業務の責任者（原則として主任技術者）を 2 回以上経験していることを示す資料。

問 2：以下の設問への解答を、1 ページ以内で記述せよ。最初に受験番号を記し、解答は図表等を使用せず、論述のみとする。

空間情報総括監理技術者として①Society5.0、②DX(Digital Transformation)、③SDGs (Sustainable Development Goals) のキーワードから 1 つを選択し、空間情報技術との関連を論述せよ。

問 3：以下の設問に対するプレゼンテーションスライドをパワーポイントスライド 8 ページ以内で作成せよ。視覚的な表現に心がけること、ただし、アニメーション機能を使用してはいけない。なお、空間情報技術の一般的な専門用語であれば、説明なしに用いてよい。

1 ページ目：受験番号、氏名を記せ。また、あなたの空間情報技術者としての専門を記せ。

2～3 ページ目：現在進められている国や自治体の政策における課題の中から、あなたの専門技術がその改善に貢献すると考えられる課題について説明せよ。

4～8 ページ目：あなたの専門技術が、その課題の改善に向けて実際にどのように使われどのような効果があるのかについて説明せよ。

令和2年度 空間情報総括監理技術者資格認定試験

試験実施日時：令和2年9月26日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 問1～問3に対する解答のファイル名は、受験番号-問番号とすること。
例) 20-099-1：受験番号 20-099 の受験者が問1を解答する場合。半角数字で入力する。
- 2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。
- 3) 解答はすべて USB メモリに出力して提出せよ。
- 4) 注意事項を守らない場合は減点対象になる。

問1 以下の設問への答えを、全部で2ページ以内に記述せよ。

あなたが本試験の受験申込で提出した「空間情報関連の業務経歴書*」の「責任者（原則として主任技術者）を務めた主な業務経歴」に記載した業務のうち、最も印象に残る事例を一つ選択し、印象に残った事項やその理由などについて、下記の項目に従って記述せよ。なお、図表等は用いないこととし、下記0.～2.の記述は合わせて1ページ目の半分程度以内とする。

0. 受験番号と氏名
1. 業務名称、実施時期および場所
2. 業務の目的と内容（概要）
3. 印象に残った事項とその理由
4. 現時点におけるあなたの技術的評価と今後の展望

*空間情報関連業務の責任者(原則として主任技術者)を2回以上経験していることを示す資料

問2 以下の設問への答えを、全部で1ページ以内に記述せよ。

別紙は、月刊『測量』2020年6月号(Vol.70, No.6)に掲載された、村上広史青山学院大学教授の「高精度測位の時代＝測量の時代」の文章である。この文章を読み、空間情報総括監理技術者としてのあなたが考える取り組むべき課題とその理由、および今後の展望について論述せよ。図表等は用いないこととし、先頭1行目には受験番号と氏名を記載すること。

問3 以下の設問に対するプレゼンテーションスライドを、パワーポイントのスライド8ページ以内で作成せよ。視覚的な表現に心がけること。ただし、アニメーション機能を使用してはいけない。なお、空間情報技術の一般的な専門用語であれば、説明なしに用いても良い。

あなたは空間情報総括監理技術者として、国や地方公共団体が取り組んでいる政策課題について、その関係機関に5分間のプレゼンテーションを行う機会を得たと想定する。
そのための説明用スライドを下記の項目に従って作成せよ。

スライド1ページ目：

受験番号と氏名、あなたの空間情報技術者としての専門

スライド2ページ目：

説明内容の概要（3-8 ページの内容を要約）

スライド3-8 ページ目：

あなたの専門技術が貢献すると考えられる政策課題とその理由、その課題に対する解決策と期待される効果等

以上

令和元年度 空間情報総括監理技術者資格認定試験

試験実施日時：令和元年 7 月 20 日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。
例) 19-099-1：受験番号 19-099 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字で入力する。
- 2) 各問への解答の最初には、必ず受験番号と氏名を記載すること。
- 3) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。
- 4) 解答はすべて USB メモリーに出力して提出せよ。
- 5) 注意事項を守らない場合には減点対象になる。

問 1 以下の設問への答えを、全部で 1 ページ以内に記述せよ。

最近約 20 年間において普及した技術等のうち、日常生活に大きく影響を与えたものを一つ挙げよ。その上で、空間情報技術者の立場から、それがどのように影響を与えたか、および、現在の課題と将来展望について論述せよ。

問 2 以下の設問への答えを、全部で 1 ページ以内に記述せよ。

空間情報技術を主たる業務として取り組む技術者を対象とした社内での技術研修講座を担当することになったとする。講座は座学式の講義 3 回（1 回 90 分）から成る。以下の①～⑦の各事項に解答する形で、どのような講座にしたいかを説明せよ。

- ①対象とする受講者層、②講座の目的（3 回の講義を通して伝えたいこと）、③講座の名称、④第 1 回講義の概要、⑤第 2 回講義の概要、⑥第 3 回講義の概要、⑦その他（補足することがあれば示せ）。

問 3 以下の設問に対するプレゼンテーションスライドを、パワーポイントのスライド 8 ページ以内で作成せよ。視覚的な表現に心がけること。ただし、アニメーション機能を使用してはいいけない。なお、空間情報技術の一般的な専門用語であれば、説明なしに用いてもよい。

空間情報技術分野において、最近 5 年間程度であなたが主たる責任者として関連した業務のうち失敗した事例を取り上げ、失敗した理由、そこから学んだ教訓、今後の業務に活かすための改善方針のすべてについて、空間情報技術者（初級から中級程度）に説明するためのスライドを作成せよ。

スライド 1 ページ目：

受験番号と氏名、業務名称、実施時期および場所、業務の目的を記せ。また、あなたの空間情報技術者としての専門を記せ。

スライド 2～8 ページ目：

題意に沿って自由に記述せよ。

以上

平成 30 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：平成 30 年 7 月 21 日 13:30-16:30

注意事項

1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。

例) 18-099-1：受験番号 18-099 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字使用。

2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。

3) 設問の解答は全て USB メモリーに出力して提出せよ。

問 1：以下の 3 つのテーマから 1 つを選び、選択したテーマについて現在の課題と将来展望についてあなたの意見を 1 ページ以内で論述せよ。最初に受験番号および選択したテーマを記し、解答は図表等を使用せず、論述のみとする。

1. 準天頂衛星を利用した測量システム
2. レーザや写真測量などを用いた 3D 計測技術
3. 空間情報技術への AI の活用

問 2：最初に受験番号を記したのち、以下の設問への解答を、1 ページ以内で記述せよ。

阪神・淡路大震災（1995 年、平成 7 年）以降に、空間情報分野（関連する法律、政策、行政、技術、産業の動向など）で重要なキーワードを時系列に挙げ、それぞれについて、その背景や意義、影響などについて概説せよ。なお、列記するキーワードは 10 個程度とし、時系列の記述が多少前後していても減点とはならない。

問 3：空間情報技術分野において、最近 5 年間程度であなたが主たる責任者として関連した業務のうち成功した例を取り上げ、なぜ成功したかについて空間情報技術者（初級から中級程度）にアピールするためのスライドを作成せよ。

解答は、以下の要領に従ってパワーポイント 8 ページ以内に記述し提出せよ。解答ではパワーポイントの機能が最大限に発揮できるよう、図表を効果的に使うこと。ただし、アニメーション機能などは使用しないこと。

1 ページ目：受験番号、業務名称、実施時期および場所、業務の目的

2～8 ページ目：題意に沿って自由に記述せよ

平成 29 年度 空間情報総括監理技術者資格認定試験

試験実施日時：平成 29 年 7 月 22 日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。
例) 17-001-1：受験番号 17-001 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字で入力する。
- 2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。
- 3) 解答はすべて USB メモリーに出力して提出せよ。

問 1 以下の設問への答えを、全部で 1 ページ以内に記述せよ。

0. 受験番号、氏名を記せ。
1. 最近約 20 年間のわが国の空間情報分野の動向（関連する法律、政策、行政、技術、産業等の動向）を概説せよ。年表形式にする、項目を分類して小見出しを付ける等、解答の様式は問わない。ただし、事実を列挙するだけでなく、適宜、その背景や意義、影響等に言及することが望ましい。なお、時期（例えば、ある法律が制定された年）に関する記述に少々の間違いがあっても減点の対象とはならない。全体像を捉え、記述することを重視せよ。

問 2 以下の設問への答えを、全部で 1 ページ以内に記述せよ。

0. 受験番号、氏名を記せ。
1. あなたは、ある自治体の一般向け「市民講座」において、空間情報に関する講座を担当することになったとする。講座は座学式の講義 3 回（1 回 90 分）から成る。空間情報に関するものであれば、講座の内容や構成はすべてあなたに任されている。以下の①～⑦の各事項に回答する形で、あなたならどのような講座にしたいかを説明せよ。
①対象とする受講者層、②講座の目的（3 回の講義を通し、受講者に何を伝えたいのか）、③講座の名称（副題を付けてもよい）、④第 1 回講義の概要、⑤第 2 回講義の概要、⑥第 3 回講義の概要、⑦その他（補足することがあれば記せ）。

問 3 あなたがこれまで従事した空間情報技術に関する業務の中から特に印象に残っているものを 1 つ取り上げ、その業務の内容や、なぜ印象に残っているのかを 5 分程度で口頭発表するためのパワーポイントのスライド（上限 8 ページ）を下記の要領で作成せよ。小さな文字や長い文章をなるべく避け、また図や写真を効果的に使用するなどし、見やすく分かりやすいスライドになるよう配慮せよ。ただし、アニメーション機能を使用してはいけない。

- 1 ページ目：業務の名称（適宜、略記してよい）、受験番号、氏名を記せ。
- 2 ページ目：発表の目次を記せ。
- 3 ページ目以降：目次に従っていれば、あとは自由に記してよい。

以上

平成 28 年度 空間情報総括監理技術者資格認定試験

試験実施日時：平成 28 年 7 月 23 日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。
例) 16-099-1：受験番号 16-099 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字で入力する。
- 2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。
- 3) 解答はすべて USB メモリーに出力して提出せよ。

問 1 以下の設問への答えを、全部で 1 ページ以内に記述せよ。

0. 受験番号、氏名を記せ。
1. 別紙は、月刊『測量』2016 年 6 月号 (Vol.66, No.6) に掲載された、村上広史国土地理院参事官 (当時) の「いま、国連が熱い！」の文章である。この文章を読み、空間情報技術者としてのあなたの感想や意見を記せ。なお、この設問はあなたの主義主張の是非を問うものではなく、あなたの知識、思考力、文章力等を問うものである。

問 2 以下の設問への答えを、全部で 2 ページ以内に記述せよ。

0. 受験番号、氏名を記せ。
1. あなたは日頃、空間情報技術の研究・技術開発の動向について、どのような学会・雑誌・書籍等を通して (社内における研究会・講座等は除く)、どのような方法で学習しているのか、なるべく具体的に説明せよ。※ 学会名・雑誌名・書籍名等も具体的な名称を記述すること。
2. あなたが最近注目している空間情報に関する新技術を 1 つ挙げ、その技術の内容を簡単に紹介するとともに、その技術に注目する理由を説明せよ。

問 3 以下の設問に対するプレゼンテーションスライドを、パワーポイントのスライド 8 ページ以内で作成せよ。視覚的な表現に心がけること。ただし、アニメーション機能を使用してはいいない。なお、空間情報技術の一般的な専門用語であれば、説明なしに用いてもよい。

スライド 1 ページ目：

受験番号、氏名を記せ。また、あなたの空間情報技術者としての専門を記せ。

スライド 2～4 ページ目：

現在進められている国や自治体の政策における課題の中から、あなたの専門技術がその改善に貢献すると考えられる課題について説明せよ。

スライド 5～8 ページ目 (上限)：

あなたの専門技術が、その課題の改善に向けて実際にどのように使われどのような効果が期待されるのかについて説明せよ。

以上

平成 27 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：平成 27 年 7 月 25 日（土）13:30-16:30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。
例) 15-099-1：受験番号 15-099 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字使用。
- 2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。
- 3) 設問への解答は全て USB メモリーに出力して提出せよ。

問 1：以下の設問への答えを、全部で 1 ページ以内に記述せよ

最初に受験番号を記せ。

別紙は月刊「測量」の 2014 年 11 月号 (Vol.64 No.11) に掲載された、村上真幸国土地理院参事官の「三角点、10 年後「引退」？」の文章である。この文章を読み、その内容について、空間情報技術者としてのあなたの意見や感想を記せ（図表等は用いないこと）。なお、この設問はあなたの主義主張の是非を問うものではなく、あなたの発想力、文章力などを問うものである。

問 2：以下の設問への答えを、全部で 3 ページ程度に記述せよ。

最初に受験番号を記せ。

1. あなたは、日頃、空間情報技術の研究・技術開発の動向について、どのような方法で学習しているのか、1 ページ以内で具体的な名称（例えば学会名、雑誌名、書籍名など）を挙げて説明せよ（社内における研究会・講座等は除く）。
2. そのような学習を通して、あなたが最近（ここ数年くらいに）得た新しい知識を 2 つ挙げ、それぞれ 1 ページ以内でその内容を具体的に説明せよ。

問 3：以下の設問への答えを、パワーポイントスライド 8 ページ以内で記述せよ。パワーポイントの強みである視覚的な表現を心がけること。ただし、アニメーション機能は使用してはいけない。

あなたは、空間情報技術者のエキスパートとして、空間情報に携わる技術者を対象とした講演会の講師に招かれたとする（講演時間は 50 分）。また、講演内容は空間情報技術に関することであれば自由でよいと言われたとする。講演のためのパワーポイントの導入に相当する部分のスライドを作成せよ。

- 1 ページ目：講演のタイトルとあなたの受験番号および簡単な経歴。
- 2～8 ページ目：講演の導入部に相当する内容。

平成 26 年度 空間情報総括監理技術者資格認定試験

試験実施日時：平成 26 年 7 月 26 日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。
例) 14-001-1：受験番号 14-001 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字で入力する。
- 2) ワードプロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。
- 3) 解答はすべて USB メモリーに出力して提出せよ。

問 1 以下の設問への答えを、全部で 1 ページ以内に記述せよ。

0. 受験番号、氏名を記せ。
1. 別紙は、『国土地理院広報』第 547 号（2014 年 1 月発行）に掲載された、稲葉和雄国土地理院長の「新年のご挨拶」の文章である。この文章を読み、その内容について、空間情報技術者としてのあなたの感想や意見を記せ。なお、この設問はあなたの主義主張の是非を問うものではなく、あなたの知識や経験、思考力、文章力等を問うものである。

問 2 以下の設問への答えを、全部で 2 ページ以内に記述せよ。

0. 受験番号、氏名を記せ。
1. あなたは日頃、空間情報技術の研究・技術開発の動向について、どのような方法で学習しているのか、なるべく具体的に説明せよ。
2. あなたが最近注目している空間情報に関する新技术を 1 つ挙げ、その技術の内容を簡単に紹介するとともに、その技術に注目する理由を説明せよ。

問 3 あなたは、空間情報技術に関し、下記①～③に示すような資質を有する技術者であることをアピールする機会に恵まれ、5 分程度のプレゼンテーションを行うことになったとする。そのためのパワーポイントのスライドを以下の指示に従って作成せよ。ただし、アニメーション機能を使用してはいけない。なお、聴衆（アピールする相手）は、空間情報技術の専門家であり、一般的な専門用語であれば、説明なしに用いても問題ないものとする。

- ① 優れた知識および経験
- ② 優れた応用力、構想力、提案力、監理力
- ③ 業務遂行のための優れた人格、責任感、リーダーシップ

スライド 1 ページ目：

受験番号、氏名を記せ。また、あなたの空間情報技術者としての専門を記せ。

スライド 2～8 ページ目（上限）：

一切遠慮することなく、自由にアピールせよ。

以上

平成 25 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：平成 25 年 7 月 27 日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。
例) 13-099-1：受験番号 13-099 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字使用。
- 2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。
- 3) 設問の解答は全て USB メモリーに出力して提出せよ。

問 1：以下の 3 つのテーマから 1 つを選び、選択したテーマについて現在の課題と将来展望を 1 ページ以内で論述せよ。最初に受験番号および選択したテーマを記し、**解答は図表等を使用せず、論述のみとする。**

1. 位置情報とビジネス
2. レーザー計測、衛星測位など新しい測量技術
3. 空間情報技術と IT および ICT

問 2：以下の設問への答えを、全部で 3 ページ程度に記述せよ。

空間情報技術を主たる業務として取り組む技術者を対象とした社内外での技術研修セミナーを想定し、**代表的な空間情報技術を網羅する内容**を盛り込み、以下の指示に従って、セミナー開始時に受講者に配布する資料を作成せよ。書式は自由とするが受講生が分かりやすいように工夫すること。セミナーは 6 回の講座から成り、1 回は 90 分とする。

最初に受験番号を記した上で、このセミナーの受講者に対する、A：学習目標と達成目標、B：理想的な達成度レベル、C：標準的な達成度レベルを 1 ページ程度で記述せよ。

次に、**講座ごとに、①講座内容、②受講前・受講後に読む必要のある参考書や論文、インターネットのサイトなど（具体的に記述。ただし、社内での業務情報や技術講習会等の資料は除く）、③その他、受講者に周知する必要があること、の順に記述せよ。**

ただし、解答の分量は 1 回から 6 回までの全てで 2 ページ程度とせよ。

問 3：空間情報技術は「安心」・「安全」・「快適」な社会の構築に貢献している。このことを広く社会にアピールするためのスライドを作成せよ。

解答は、以下の要領に従ってパワーポイント 8 ページ以内に記述し提出せよ。解答では**図表を効果的に使うこと**。ただし、アニメーション機能などは使用しないこと。

1 ページ目：受験番号およびあなたの専門技術を記述せよ。

2～8 ページ目：あなたの考えを自由に表現せよ。

平成 24 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：平成 24 年 7 月 28 日 13：30-16：30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号-問番号とすること。
例) 12-099-1：受験番号 12-099 の受験者が問 1 を解答する場合、半角数字使用。
- 2) ワードプロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。
- 3) 設問の解答は全て USB メモリーに出力して提出せよ。

問 1：配布した以下の 3 つの資料から 1 つを選び、設問への答えを全部で 2 ページ以内に記述せよ。

1. スマホ新潮流 (出典：日本経済新聞 2012 年 3 月 21 日)
2. 無線 LAN 急拡大支える (出典：日刊工業新聞 2012 年 4 月 4 日
転載許可済 承認番号：N-6359)
3. 小型衛星を公開 (出典：日経産業新聞 2012 年 6 月 26 日)

最初に受験番号および選択した資料番号およびタイトルを記せ。

設問：選択した資料の内容と空間情報技術の関連について論ぜよ

問 2：以下の設問への答えを、全部で 3 ページ以内に記述せよ。

空間情報技術を主たる業務として取り組む技術者を対象とした社内での技術研修講座などを想定し、空間情報総括監理技術者の立場で以下の内容を盛り込み、講座開始時のオリエンテーションで受講者に配布する資料を作成せよ。書式は自由とするが受講生が分かりやすいように工夫すること。講座は 1 回を 90 分とし、6 回で終了するものとする。

最初に受験番号を記した上で、この講座の受講者に対する、A：学習目標と達成目標、B：理想的な達成度レベル、C：標準的な達成度レベルを 1 ページ程度で記述せよ。

次に、講座ごとに、①講座内容、②受講前・受講後に読む必要のある参考書や論文など、③受講に関して収集しなければならない情報など(ただし、**社内での業務情報や技術講習会等の資料は除く**)、④その他(空間情報総括監理技術者の立場で受講者に周知する必要のあることなど)の項目順に記述せよ。ただし、解答の分量は 1 回から 6 回までの全てで 2 ページ程度とせよ。

問 3：平成 23 年 3 月 11 日に発災した東日本大震災(原子力発電所の事故に関する被害も含む)からの復旧・復興に関連し、以下の問いに答えよ。

解答は、指示した順に従ってパワーポイント 8 ページ以内に記述し、提出せよ。ただし、アニメーション機能は使用しないこと。

1 ページ目：受験番号およびあなたの専門技術を記述せよ。

2～5 ページ目：東日本大震災からの復旧・復興と空間情報分野のかかわりについて説明せよ。

6～8 ページ目：あなたの専門技術が東日本大震災からの復旧・復興にどのような貢献ができるか、具体的に説明せよ。

平成 23 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：平成 23 年 7 月 23 日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。
例) 11-099-1: 受験番号 11-099 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字で入力する。
- 2) ワードプロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。

問 1：以下の設問への答えを、全部で 3 ページ以内に記述し、USB メモリーに出力して提出せよ

0. 受験番号、氏名を記せ。

1. あなたは、日頃、空間情報技術の研究・技術開発の動向について、どのような資料を用いて、どのような方法で学習しているのか、1 ページ以内でなるべく具体的に説明せよ。
2. そのような学習を通して、あなたが最近（ここ数年くらいに）得た新たな知識（空間情報技術に関する新規的な技術開発や応用、空間情報技術に応用可能な他分野の科学技術など）を 2 つ挙げ、それぞれ 1 ページ以内で、その内容を具体的に説明せよ。

問 2：空間情報技術分野について、これから業務として取り組むであろう技術者（どちらかといえば初級技術者）を対象とした社内での技術研修講座などを想定し、空間情報総括監理技術者の立場で以下の内容を盛り込み、講座開始時のオリエンテーションで受講者に配布する資料を作成せよ。書式は自由とするが受講生が分かりやすいように工夫すること。講座は 1 回を 90 分とし、6 回で終了するものとする。

最初に受験番号、氏名を記した上で、この講座の受講者に対する A：学習目標と達成目標、B：理想的な達成度レベル、C：標準的な達成度レベルを 1 ページ程度で記述せよ。

次に、1 回から 6 回までのそれぞれの講座について、以下に示す①から④に関する内容を記述せよ。ただし、解答の分量は 1 回から 6 回までの全てで 2 ページ程度とせよ。

①講座内容 ②受講前・受講後に読む必要のある参考書や論文など ③受講に関して収集しなければならない情報など ④その他（空間情報総括監理技術者の立場で受講者に周知する必要のあることなど）。

以上について、3 ページ程度にまとめ USB メモリーに出力して提出せよ。

問 3：以下の設問への答えを、指示した順に従ってパワーポイント 8 ページ以内に記述し、USB メモリーに出力して提出せよ。タイトルスライドに、受験番号、氏名を記入すること。また、アニメーション機能は使用しないこと。解答には問 2 と内容的な重複があってもよい。

1～2 ページ目：あなたが空間情報技術の中で特に専門とする内容について紹介せよ。

3～5 ページ目：社会的・地域的課題の中から、あなたの専門技術がその改善に貢献すると考えられる課題について説明せよ。

6～8 ページ目：あなたの専門技術が、その課題の改善に向けて実際にどのように使われどのような効果が期待されるのかについて説明せよ。

以上

平成 22 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：平成 22 年 7 月 24 日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号-問番号とすること。
例) 10-099-1：受験番号 10-099 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字で入力する。
- 2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。
- 3) 問 3 には、問 1 に関連する注意書き（下線部）がある。

問 1： 空間情報技術の分野において、あなたが主任技術者として従事した業務（なるべく過去 5 年以内に従事した業務が望ましい）のうち、明らかに失敗した例（今思えば失敗であったと判断される例を含む）を取り上げ、その業務の目的、失敗の原因や解決策などについて、下記の項目に従って、全部で 3～4 ページ程度にワープロ入力し、USB メモリーに出力して提出せよ。

0. 受験番号、氏名
1. 業務名称、実施時期および場所
2. 業務の目的と内容（概要）
3. 失敗の内容と原因
4. 解決策（今思えば、どうするべきであったのか）

問 2： 以下の設問への答えを、全部で 3 ページ以内にワープロ入力し、USB メモリーに出力して提出せよ。

0. 受験番号、氏名を記せ。
1. あなたは、日頃、空間情報技術の研究・技術開発の動向について、どのような方法で学習しているのか、1 ページ以内で、なるべく具体的に説明せよ。
2. そのような学習を通して、あなたが最近（ここ数年くらいに）得た新たな知識（空間情報技術に関する新規的な技術開発や応用、空間情報技術に応用可能な他分野の科学技術など）を 2 つ挙げ、それぞれ 1 ページ以内で、その内容を具体的に説明せよ。

問 3： 以下の設問への答えを、指示した順に従って、パワーポイントのスライド 8 ページ以内に入力し、USB メモリーに出力して提出せよ。スライドは、プロジェクターで投影して口頭発表することを想定して作成せよ。なお、アニメーション機能は使用してはいけない。

- 1 ページ目： 受験番号、氏名を記せ。また、あなたは空間情報技術の中でも特にどのような技術の専門家であるのかを簡潔に説明せよ。
- 2～3 ページ目： 社会的・地域的課題の中から、あなたの専門技術がその改善に貢献すると考えられる課題を 1 つ取り上げ、なるべく実例を用いて具体的に説明せよ。ただし、問 1 で解答した業務に直接関わる課題を取り上げてはいけない。
- 4～8 ページ目： あなたの専門技術が、その課題の改善に向けて実際にどのように使われ、どのような効果が期待されるのかについて説明せよ。なお、説明する相手は、その課題について熟知し、また、空間情報技術についても初歩的な知識を有していると想定してよい。

以上

平成 21 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：平成 21 年 7 月 25 日 13:30-16:30

注意事項

1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。

例) 09-099-1：受験番号 09-099 の受験者が問 1 を解答する場合。半角数字で入力する。

2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。

問 1： 空間情報技術の分野において、あなたが主たる責任者として関連した業務のうち、顕著な技術改善を通して成功（精度向上、工期短縮、経費縮減など）した例を取り上げ、その業務の目的、成功に導いた創意工夫、今後の展望・課題などについて、下記の項目に従って、全部で 3～4 ページ程度にワープロ入力し、USB メモリーに出力して提出せよ。

0. 受験番号、氏名

1. 業務名称、実施時期および場所

2. 業務の目的と内容（概要）

3. 成功に導いた技術的な創意工夫

4. 発注者側からの評価や、受賞など外部機関からの評価（特になければ、自己評価）

5. 今後の展望・課題

問 2： 以下の設問への答えを、全部で 3 ページ以内にワープロ入力し、USB メモリーに出力して提出せよ。

0. 受験番号、氏名を記せ。

1. あなたは、日頃、空間情報技術の研究・技術開発の動向について、どのような方法で学習しているのか、1 ページ以内で、なるべく具体的に説明せよ。

2. そのような学習を通して、あなたが最近（ここ数年くらいに）得た新たな知識（空間情報技術に関する新規的な技術開発や応用、空間情報技術に応用可能な他分野の科学技術など）を 2 つ挙げ、それぞれ 1 ページ以内で、その内容を具体的に説明せよ。

問 3： 以下の設問への答えを、指示した順に従って、パワーポイントのスライド 8 ページ以内に入力し、USB メモリーに出力して提出せよ。ただし、スライドの作成においては、アニメーション機能を使用してはいけない。

1 ページ目： 受験番号、氏名を記せ。また、あなたが現在居住している市区町村を記せ（東京都文京区、神奈川県横浜市などと具体的に）。

2 ページ目： その市区町村が抱えている行政上の課題の中から、改善に向けて空間情報技術の応用が有効と考えられる課題を 1 つ取り上げ、その内容を説明せよ。

3～6 ページ目： 市区町村の担当者に対し、空間情報技術を用いてその課題を改善するための技術提案を行う発表用スライドを作成せよ。なお、市区町村の担当者は空間情報技術に関する初歩的な知識を有していることを前提とせよ。

7～8 ページ目： 提案する技術内容の社会的な有用性（実施により期待される効果）、技術開発としての新規性、独創性、信頼性などを積極的にアピールする発表用スライドを作成せよ。

以上

平成 20 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：平成 20 年 7 月 26 日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 問 1～問 3 に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。
(例：08-099-1：受験番号 08-099 の受験者が問 1 を解答する場合、半角数字で入力する)
- 2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイント。1 ページは、36 行、40 文字／行とする。

問 1： 空間情報技術の分野において、あなたが主たる責任者として関連した業務のうち、明らかに失敗した例（今思えば失敗であったと判断される例を含む）を取り上げ、その業務の目的、失敗の原因や解決策などについて、下記の項目に従って、全部で 3 ページ以内にワープロ入力し、USB メモリーに出力して提出せよ。

0. 受験番号、氏名
1. 業務名称、実施時期及び場所
2. 業務の目的と内容（概要）
3. 失敗の内容と原因
4. 解決策（今思えば、どうすべきであったのか）

問 2： 以下の設問への答えを、全部で 3 ページ以内にワープロ入力し、USB メモリーに出力して提出せよ。

0. 受験番号、氏名を記せ。
1. あなたは、空間情報技術者の中であって、特に何の専門家であるか、説明せよ。
2. その専門家として、あなたは今、どのような技術開発の動向に最も注目しているのか、その内容と注目する理由を説明せよ。
3. その専門家として、あなたは今、国や自治体のどのような政策の動向に最も注目しているのか、その内容と注目する理由を説明せよ。

問 3： 以下の設問への答えを、指示した順に従って、パワーポイントのスライド 8 枚以内に入力し、USB メモリーに出力して提出せよ。

スライド 1 枚目： 受験番号、氏名を記せ。また、あなたが在住経験または在勤経験のある市区町村名を 1 つ挙げよ（東京都文京区などと具体的に）。

スライド 2 枚目： その市区町村が実際に抱える行政上の課題の中から、解決に向けて空間情報技術の貢献が期待される課題を 1 つ取り上げ、適当な題目を付けた上でその内容を説明せよ。

スライド 3～8 枚目： その課題に対し、どのような空間情報技術が具体的にどのように貢献するのかについて、市区町村の担当者に説明するためのスライドを作成せよ。

平成 19 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：平成 19 年 7 月 28 日 13:30-16:30

注意事項

- 1) 各問に対する解答のファイル名は、受験番号・問番号とすること。
(例：07-099-1：受験番号 07-099 の受験者が問 1 を解答する場合、半角数字で入力する)
- 2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイントで 36 文字、36 行とする。

問 1：空間情報技術分野において、あなたが主たる責任者として関連した業務のうち明らかに失敗した例または今から思えば失敗だった例を取り上げ、何故失敗したかの原因を述べ、今ならどうすべきだったかを下記の項目別にワープロ入力し、3 ページ以上 5 ページ以内で USB メモリーに出力して提出せよ。

0. 受験番号および氏名
1. 業務名称
2. 実施時期および場所
3. 業務の目的
4. 業務の内容（概略）
5. 解決すべき課題
6. 失敗の原因
7. 失敗を克服するための解決策の提案

問 2：空間情報の応用に関して、以下の課題を一つ選択し、その課題を満たす空間情報の応用事例を取り上げ、その可能性と限界をワープロに入力し、3 ページ以内で USB メモリーに出力して提出せよ。応用事例は、既存のものでも、あなたが創作したものでもよい。

1. Google Earth や電子国土など無料のデータを利用して GIS の応用を図る。
2. デジタルカメラを利用して 3 次元計測を行い、構造物などの維持管理に役立てる。
3. GNSS(GPS などの衛星測位システム)の連続観測により、災害などの監視に応用する。

問 3：下記の自治体の中から一つを選び、空間情報技術を駆使して行政の改善を図る業務提案を創作し、パワーポイントでスライド 8 枚以内にまとめ、USB メモリーに出力して提出せよ。ただし、タイトルスライドに、受験番号、氏名を記入すること。

1. 過去に洪水や土石流の被害が多発した A 市
2. 野生動物が出没して農業被害の多い B 市
3. マンションブームで人口が急増している C 市

平成 18 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：平成 18 年 7 月 22 日 13:30-16:30

問 1：空間情報技術分野において、あなたが主たる責任者として関連した業務のうち顕著な技術改善（精度向上、工期短縮、コストダウンなど）をして成功した例を取り上げ、成功に導いた創意工夫を下記の項目別にワープロ入力し、3 ページ以上 5 ページ以内で USB メモリーに出力して提出せよ。

0. 受験番号および氏名
1. 業務名称
2. 実施時期および場所
3. 業務の目的
4. 業務の内容（概略）
5. 解決すべき課題
6. 技術改善の要点とその時の創意工夫
7. 成果
8. 今後の展望・課題

問 2：空間情報の応用に関して、以下の条件を一つ選択し、その条件を満たす空間情報の応用事例を取り上げ、その可能性と限界をワープロに入力し、3 ページ以内で USB メモリーに出力して提出せよ。応用事例は、既存のものでも、あなたが創作したものでもよい。

1. バッファリングとオーバーレイの GIS 機能を使って、改善策の検討を行う。
2. 高分解能衛星画像と航空機搭載レーザースキャナーデータを融合して、空間情報の処理および分析をする。
3. GPS、デジタルカメラ、携帯電話および GIS を融合したシステムを構築して、調査・計測に応用する。

問 3：下記の自治体の中から一つを選び、空間情報技術を駆使して行政の改善を図る業務提案を創作し、パワーポイントでスライド 8 枚以内にまとめ、USB メモリーに出力して提出せよ。ただし、タイトルスライドに、受験番号、氏名を記入すること。

1. 不法滞在の外国人が多く、犯罪が急増している A 市
2. 新しく開設された大規模鉄道の沿線にある都市近郊の B 市
3. 市街地が迷路のように入り組んでいる C 市

注 1) 各問に対する解答のファイル名は、受験番号—問番号とすること

（例：06-099-1：受験番号 06-099 の受験者が問 1 を解答する場合、半角数字で入力する）

注 2) ワープロの字体は明朝体、10.5 ポイントで 36 文字、36 行とする。

平成 17 年度 空間情報総括監理技術者認定試験

試験実施日時：平成 17 年 7 月 30 日 13:30-16:30

問 1：空間情報技術分野において、あなたが主たる責任者として関連した業務のうち空間情報技術を利用して成功した例を取り上げ、成功に導いた創意工夫を下記の項目別にワープロ入力し、USB メモリーに出力して提出せよ。

0. 受験番号および氏名
1. 業務名称
2. 実施時期および場所
3. 業務の目的
4. 業務の内容（概略）
5. 利用した空間情報技術
6. 解決すべき課題
7. 成功に至った創意工夫
8. 成果
9. 今後の展望・課題

問 2：日本測量協会が発行した機関誌「測量」に掲載されたテクニカルレポートの記事の中から一つを取り上げ、空間情報総括監理技術者としての技術展望をワープロで入力し、USB メモリーに出力して提出せよ。ただし、受験番号、氏名を最初に記入すること。

1. 2004 年 8 月号 (Vol.54、No.8)：RTK-GPS によるリアルタイム地図更新のための大縮尺地図補正について
2. 2005 年 4 月号 (Vol.55、No.4)：レーンマーカ設置作業への VRS-GPS の適用
3. 2005 年 6 月号 (Vol.55、No.6)：航空写真・デジタル地図・レーザースキャナデータのフュージョンによる都市 3 次元モデル構築

問 3：下記の自治体の中から一つを選び、空間情報技術を駆使して行政の改善を図る業務提案を作成し、パワーポイントでスライド 8 枚以内にまとめ、USB メモリーに出力して提出せよ。ただし、タイトルスライドに、受験番号、氏名を記入すること。

1. 高齢者の占める割合が多く、公共交通手段の少ない A 市
2. 一戸建て木造家屋が高密度に集中している B 市
3. 急な坂や斜面が多く、災害危険度の多い C 市

注) 各問に対する解答のファイル名は、受験番号―問番号とすること

(例：05-099-1：受験番号 05-099 の受験者が問 1 を解答する場合、半角数字で入力する)